

プラレール® スイッチレバー折れを修復する

2019.06.12

トミー・マック

1. 要 点

プラレール®のスイッチレバーは合成樹脂製で、スイッチの接点をハトメで留めています。

従って合成樹脂のスイッチレバーにハトメ用の孔があり、幅に対しハトメ孔が開いているので、残り合成樹脂が少なくなり、力が加わるとハトメ部で折れることが時々あります。

2. 方 法

(1) 折れた状態

殆どが「折れ1」のハトメの中心で折れています、稀に「折れ2」の途中折れです。

別物では固定孔左や、ハトメを中心として近傍が折れています。折れ方も様々です。



正常品

折れ1
(ハトメ中心で折れ)折れ2
(少し上で折れ)別物折れ3
(右側の折れ)別物折れ4
(ハトメ中心の左上で折れ)

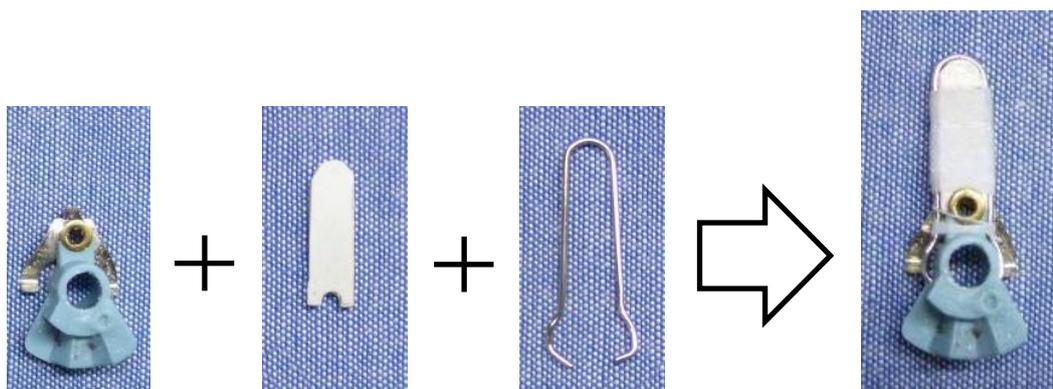
(2) 事 例

例1 (折れ1)

材 料：プラスチック板（厚み 2.0mm）＋ステンレス線（φ0.9mm）＋縫製糸＋一般瞬間接着剤
(ステンレス線（φ0.9mm）はゼムクリップでも可です。)

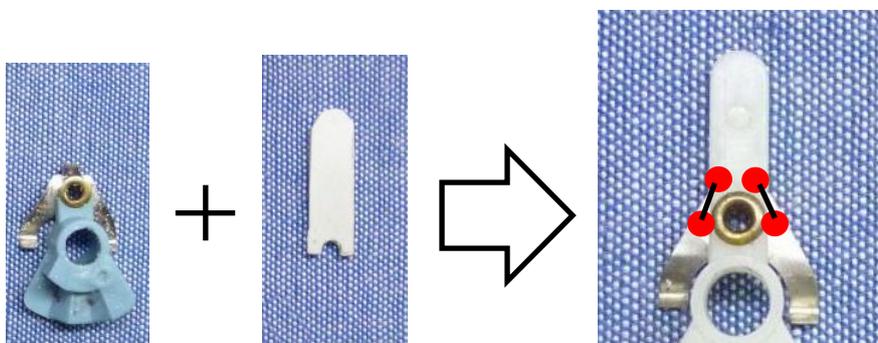
残ったスイッチレバーの両サイドにφ0.9mmの孔を開け、整形したステンレス線の先端をはめ、縫製糸を巻き付けてから、一般瞬間接着剤で留めます。

プラレール® スイッチレバー折れを修復する



例2 (折れ1) 写真なし Naドクターさん情報提供

材 料：プラスチック板（厚み 2.0mm）＋ステンレス線（φ0.3mm）＋一般瞬間接着剤

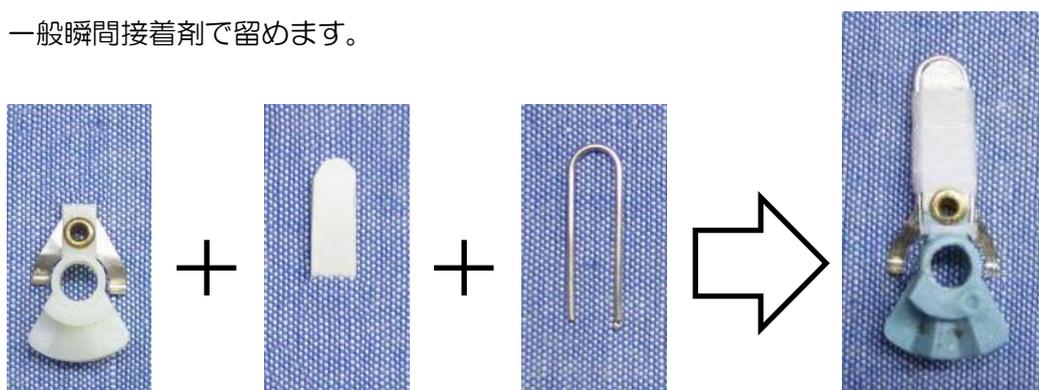


孔を開ける場所が狭く、小さな孔を開けるので、難易度は高いです。

例3-1 (折れ2)

材 料：プラスチック板（厚み 2.0mm）＋ステンレス線（φ0.9mm）＋縫製糸＋一般瞬間接着剤
（ステンレス線（φ0.9mm）はゼムクリップでも可です。）

プラスチック板で作ったレバー上の周囲に、整形したステンレス線を被せ、縫製糸を巻き付けてから、一般瞬間接着剤で留めます。

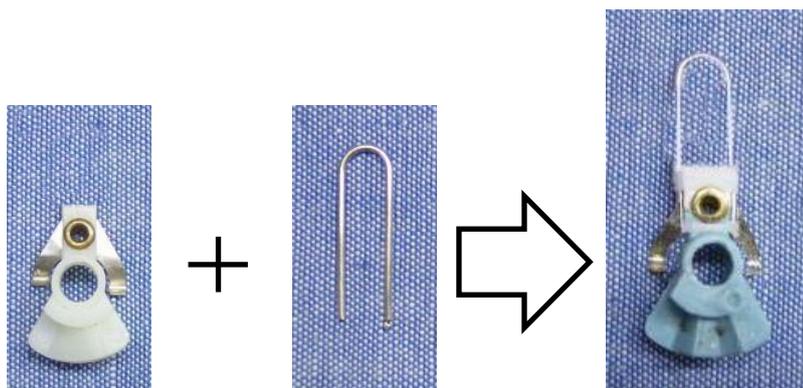


例3-2 (折れ2)

材 料：ステンレス線（φ0.9mm）＋縫製糸＋一般瞬間接着剤
（ステンレス線（φ0.9mm）はゼムクリップでも可です。）

整形したステンレス線を残ったレバー下に被せ、縫製糸を巻き付けてから、一般瞬間接着剤で留めます。

プラレール® スイッチレバー折れを修復する

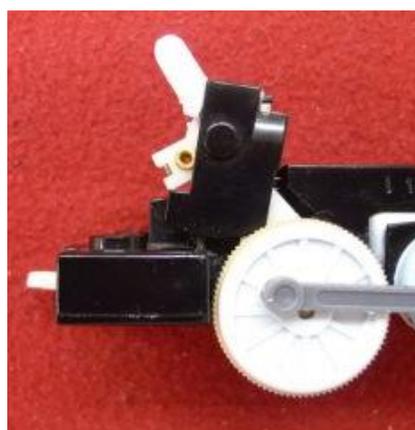
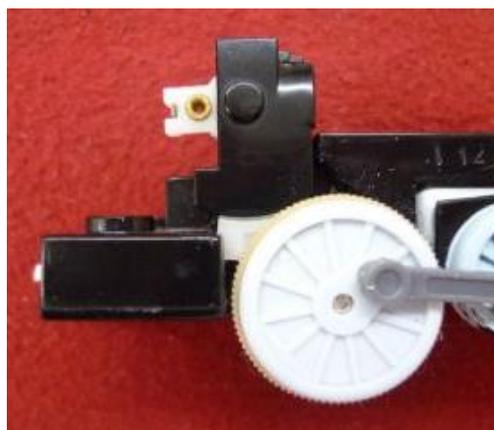


(注) 例1、例3-1、例3-2でプラスチック板(厚み 2.0mm) やステンレス線(φ0.9mm)を縫製糸で留めたのは、巻き易さと末端処理が要らない(瞬間接着剤で接着)からです。

例4 (別物折れ3)

異なるプラレール®のものですが、横タイプもあります。

材 料：プラスチック板(厚み 2.0mm) + ステンレス線(φ0.3mm) + 一般瞬間接着剤



故障状態



修理後

(ステンレス線の厚み分。ワッシャを入れました)

プラレール® スイッチレバー折れを修復する

例5 (別物折れ4) ○ドクターさん現物提供

材 料：折れた破片＋ステンレス線（φ0.35mm）＋一般瞬間接着剤

赤い実線は折れた部分です。複雑な折れ方をしているので数カ所を縫合します。



これも孔を開ける場所が狭く、小さな孔を開けるので、難易度は高いです。

終わり